

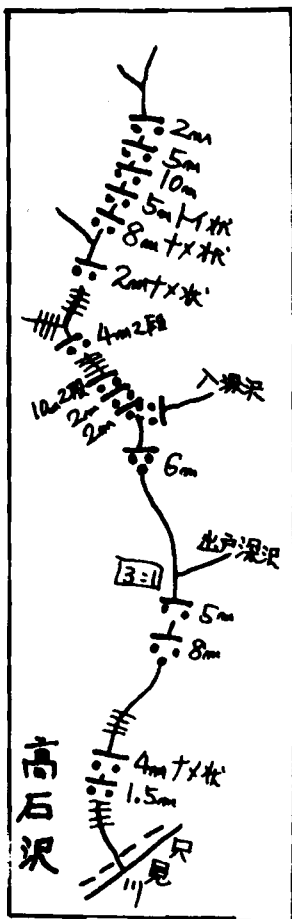
つ10m滝があり、これも右岸を捲いた。

核心部はこれで終了である。あとは傾斜も緩やかとなる。10時、遡行終了とし、左岸の尾根に上がる。

[タイム] タケナグラ沢出合(7:45)→遡行終了(10:00)

### 尾瀬・高石沢 1992年10月4日

御池の駐車場で仮眠したのだが、朝起きてみると駐車場は満杯だった。折しも紅葉の季節である。朝食をすませ、小沢平へ移動。車を置き、徒歩20分ほどで下降予定のトクサ沢出合。さらに10分で、目的の高石沢出合到着。



高石沢はずっと川原が続く。ほぼ3時間半で、出戸深沢の出合に到着する。水量比はおよそ3:1。ここまで、滝が4つだけだった。これからに期待して前進する。

6mの滝を越えると、入深沢が滝となって入る。このあたりから、両岸が狭まり、倒木が多くなってくる。スケールこそ大きくないが、滝が続いて面白い。8mはシャワー、5mのトイ状滝は勇気のある人（濡れることが気にならない人）だけが沢筋を進む。10m、5mは何なくクリア。このあたりまでが核心部で、あとは川原状になる。道路からのゴミが目立ってきたところで遡行終了、道路をめざす。

予想されたとはいえ、下流部に変化がなかったのが残念であった。しかし、部分的には滝が続いて、楽しい沢登りとなった。

(記

[タイム] 小沢平(6:25)→トクサ平出合(6:40)→高石沢出合(6:50)→出戸深沢出合(10:20)→入深沢出合(11:20)→車道(13:00)